

# 小平市下水道プラン進捗状況

《平成24年度実績》

～快適な生活環境を支える下水道～

平成25年10月

小 平 市



## 1 小平市下水道プラン進捗状況の公表について

小平市では、下水道事業をとりまく環境及び下水道が抱える課題を踏まえ、中・長期的な視点に立った今後の下水道事業のあり方（方向性）を示すことを目的として、下水道における総合的な計画「小平市下水道プラン」（計画期間：平成 23 年度～平成 32 年度）を平成 22 年度に策定しました。

このたび、小平市下水道プランに基づく施策の平成 24 年度の進捗状況について取りまとめましたので、公表いたします。

なお、今年度は施策の進捗状況の公表のみ行います。施策の進捗状況に関する評価等については、前期期間（平成 23 年度～平成 27 年度）の終了後の平成 28 年度に行います。



## 2 小平市下水道プランの体系

小平市下水道プランの基本理念「快適な生活環境を支える下水道」を実現するための基本方針及び施策の体系図を以下に示します。(★は重点施策を示します。)



### 3 各施策の進捗状況《平成 24 年度実績》

小平市下水道プランに基づく事業の平成 24 年度の実績数値等を以下に示します。

基本方針	施策		前期計画期間 (H23~H27)	平成24年度 実績数値等 (単年度・累計)	内 容
I 環境に配慮したまちづくり	1 汚水処理対策	(1) 土地区画 整理事業や道 路整備等の開 発に併せた管 きよ整備	目標 開発に併せた 遅滞ない整備	整備路線  1 路線 ・ <b>2 路線</b>	都道 227 号線（東京街道）拡幅に伴う新設。  【目標達成率：66.7%】
		目標数値等 整備路線 ： 3 路線			
	(2) 未接続家 屋の解消（下 水道への接続 依頼）	目標 下水道への接 続促進	水洗化率  0.1% ・ <b>99.0%*</b>	水洗化率（%）＝下水道で汚水を処理している 人口／処理区域内人口×100 （平成 23 年度末水洗化率：98.9%）  【目標達成率：99.0%】	
2 合流式下水道改善対策★	雨水浸透施設 の設置	目標 雨水浸透ます の設置	雨水浸透 ます設置数  101 基 ・ <b>202 基</b>	合流式下水道改善工事：2 件実施 工事箇所：学園東町二～三丁目、上水南町三～ 四丁目、喜平町二～三丁目  【目標達成率：96.7%】	
目標数値等 設置基数 ：209 基 （平成 25 年 度までに設 置）					

※は下水道プラン計画初年度の平成 23 年度以前からの数値を含む累計。

★は重点施策を示します。

- 土地区画整理事業 都市計画区域内の土地について、公共施設の整備改善及び宅地の利用促進を図るため行われる土地の区画形質の変更及び公共施設の新設または変更に関する事業をいう。
- 合流式下水道 汚水及び雨水を同一の管きよで排除し、処理する方式。分流式に比べ管路施設の建設が容易（経済的・効率的）である一方、雨天時に汚水の一部が公共用水域へ未処理で排出されるため、汚濁負荷量、病原性微生物等による公衆衛生上の安全性、きょう雑物による景観に関する課題がある。（昭和 45 年 12 月の下水道法改正以降に策定された下水道計画は、分流式下水道により整備が行われている。）
- 雨水浸透ます 雨水ますの底部に穴を開け、その周囲に砂利を敷き並べ、そこから雨水を地下に浸透させるもの。

基本方針	施 策		前期計画期間 (H23~H27)	平成24年度 実績数値等 (単年度・累計)	内 容
I 環境に配慮したまちづくり	3 雨水浸透対策	雨水浸透施設の設置促進	関係各課等との連携による設置促進	浸透量 130m <sup>3</sup> /hr ・ <u>260m<sup>3</sup>/hr</u>	I-2「合流式下水道改善対策」による  【目標達成率：96.3%】
		目標	設置浸透量：約270m <sup>3</sup> /hr (平成25年度までの下水道課対策浸透量)		
	4 資源の有効利用	(1) 雨水貯留施設の設置促進	関係各課等との連携による設置促進	雨水貯留施設設置数 2 ・ <u>3</u>	新規公共施設2件 (小川町一丁目地域センター・児童館、消防団第三分団詰所)  (平成23年度：1件 花小金井南中学校増築校舎)
		目標	新規に建設する公共施設への雨水貯留施設の設置		
		(2) 下水道資源(再生水、下水汚泥建設資材等)の利用促進検討等	再生水の利用継続及び建設資材等の利用促進検討	管渠築造工事に汚泥焼却灰使用のヒューム管を採用	φ700mm、φ1,500mmを使用
	5 施設の適正管理	(1) 下水道台帳(電子化)等による施設管理	システムの継続的な活用	ソフト機能の追加	平成23年度において、下水道台帳システムに修繕や苦情情報等の履歴を記録・集計等を行う維持管理ソフト機能を追加し、平成24年度から運用した。  【目標達成】
		目標	管路調査成果の取り込み 補修・苦情履歴管理ソフト導入		
		(2) 管きよのつまり、臭気対策の実施	下水道への排出に対するPR及び定期的な清掃の実施	清掃件数 1件	鈴木町一丁目  清掃件数とは、事業所等からの排水を起因とする管きよのつまりを、公費で清掃し解消した件数となる。なお、平成24年度は市報等のPR効果により目標数値である10件以内を達成した。  【目標達成】
	目標	清掃件数：10件/年			

再生水 高度処理等によって、種々の再利用に適するようになった下水。

基本方針	施策		前期計画期間 (H23~H27)	平成24年度 実績数値等 (単年度・累計)	内 容
II 安心・安全の確保 5. 水防対策★	1 浸水対策★	(1) 未整備地区における雨水管きよ整備	<p>目標</p> <p>浸水被害歴がある地区の整備</p> <p>目標数値等</p> <p>浸水被害歴地区整備進捗率 : 86%</p> <p>雨水管きよ整備率 : 15.9%</p>	<p>浸水被害歴地区整備進捗率</p> <p>5%</p> <p>・<b>85%*</b></p> <p>雨水管きよ整備率</p> <p>1.0%</p> <p>・<b>15.6%*</b></p>	<p>雨水管渠築造工事：6件実施 工事箇所：大沼町一丁目、花小金井二丁目、三丁目、五丁目</p> <p>浸水被害歴地区整備進捗率(%) = 浸水被害歴地区雨水管きよ整備済み区域面積 / 浸水被害歴地区雨水管きよ整備対象区域面積 × 100 (平成23年度末 浸水被害地区雨水管きよ整備進捗率：80%)</p> <p>〔浸水被害歴地区雨水管きよ整備対象区域面積については、公共雨水管きよの未整備地区(分流式下水道区域)654.6haのうち、浸水被害歴のある雨水管きよの未整備地区119.82haを対象として算出しています。〕</p> <p>雨水管きよ整備率(%) = 公共雨水管きよ整備済み区域面積 / 公共雨水管きよ整備対象区域面積 × 100 (平成23年度末 雨水管きよ整備率：14.6%)</p> <p>〔公共雨水管きよ整備対象区域面積については、公共雨水管きよの未整備地区(分流式下水道区域)654.6haを対象として算出しています。〕</p> <p>【浸水被害歴地区整備目標達成率：98.8%】 【雨水管きよ整備目標達成率：98.1%】</p>
		(2) 雨水貯留浸透施設の設置促進	<p>目標</p> <p>関係各課等との連携による設置促進</p>	—	<p>対象施策：「I-2 合流式下水道改善対策」、「I-3 雨水浸透対策」、「I-4 資源の有効利用」を参照</p>
		(3) 市民等との連携(被害軽減に対する取り組み)	<p>目標</p> <p>関係各課等との連携による浸水に対する情報提供や水防演習等の継続的な実施</p> <p>目標数値等</p> <p>水防演習等の実施回数 : 3回/年</p>	<p>水防演習等の実施回数</p> <p>3回</p>	<p>H24.5.19 水防訓練 H24.10.7 応急給水訓練 H25.2.6 ウォーターパッカー取扱い講習会</p> <p>【目標達成】</p>

分流式下水道

汚水と雨水を別々の管きよ系統で排除する方式。汚水のみを下水処理場に導く方式であるため雨天時に汚水を公共用水域に未処理で放流することがないので、水質汚濁防止上有利である。

基本方針	施策		前期計画期間 (H23~H27)	平成24年度 実績数値等 (単年度・累計)	内 容
	II 安心・安全な暮らしの実現	2 地震対策	重要な管さ よの耐震化	目標 災害対策本部や医療拠点からの排水を受ける小口径管さよの耐震化 目標数値等 地震対策対象路線における耐震化達成率：48%	耐震化達成率 29% ・ 49%*
(1) 計画的な点検・調査の実施			目標 布設年次が古い地区から順次実施 目標数値等 点検・調査延長：50km／年	点検・年間調査延長 72km	下水道管路施設調査業務委託：1件実施 委託箇所：分流地区 污水管：72km 【目標達成】
3 施設の老朽化対策★		(2) 施設の長寿命化	目標 長寿命化計画（基本構想及び事業計画）の策定 目標数値等 平成25年度：基本構想 平成26年度：事業計画	平成25年度基本構想策定に向け準備	平成25年度に業務委託にて基本構想を策定するため、プロポーザル方式で委託業者を選定した。

#### 長寿命化

時間とともに老朽化していく施設の予防保全的な管理及び管さよ内面の被覆あるいは部分取替等により、施設の耐用年数を延ばし、機能を維持すること。長寿命化を効率的に行うため対策内容、規模、期間等を定める計画を「長寿命化計画」、施設の延命化を図り、かつ、ライフサイクルコストが安価となる対策のことを「長寿命化対策」という。



基本方針	施策		前期計画期間 (H23~H27)	平成24年度 実績数値等 (単年度・累計)	内 容	
Ⅲ 環境意識が高まる施策	1 環境学習の継続	(1) 環境に対する情報発信及び市民意見聴取	目標 目標数値等	下水道事業への取り組みについてのPRの促進及び市民意見聴取 ふれあい下水道館ホム・グの定期的な更新 ：12回/年 (月1回更新)	ホム・グの更新回数  19回	各月の学習講座の様子：12回 過去の特別講話の内容：7回  (平成23年度更新回数：18回)  【目標達成】
		(2) 「ふれあい下水道館」の活用	目標 目標数値等	イベントの開催や展示の実施  イベント等開催回数 ：12回/年 (月1回開催)	イベント等開催回数  28回	菜の花プロジェクト活動展 (H24.3.10~4.8) 市民版！玉川上水サミット展 (H24.8.25~10.8) こだいら環境フェスティバル下水道デーイベント (H24.9.8) トイレグッズコレクション 3回 (H24.9.1~10.25、H24.11.1~12.25、H25.1.10~2.25) 羽村堰と新堀用水・小川用水の写真展 (H24.2.5~28) イベント期間中入場者数 11,706人 学習講座 15回 (原則毎月第3土曜日 (夏休み3回)) 計 292人 特別講和会 6回 (H24.10 から月1回) 計 141人  参加者数：合計 12,139人  (平成23年度開催回数：26回)  【目標達成】

基本方針	施策		前期計画期間 (H23~H27)	平成24年度 実績数値等 (単年度・累計)	内 容
IV 下水道経営基盤の強化	1 経営の効率化・健全化	(1) 計画的な 財政運営	目標 経営の効率化	公債費の残高 △14 億円 ・ <b>119 億円*</b>	公債費の償還ピークは過ぎていることから、公債費残高は減少している。  (平成 23 年度末公債費残高：133 億円)
		目標数値等 公債費の残高 ：90 億円			
	2 収入の適正化	(2) 地方公営 企業会計への 移行検討	目標 地方公営企 業会計への 移行検討	検討中	地方公営企業会計への移行に関する国からの情報や近隣自治体の動向に注視するとともに、課内で移行の問題点等を検討した。
		(1) 未接続家 屋の解消（下 水道への接 続依頼）	目標 下水道への接 続促進による 下水道使用料 収入の増加	水洗化率  0.1% ・ <b>99.0%*</b>	水洗化率（%）＝下水道で汚水进行处理している人口／処理区域内人口×100 (平成 23 年度末水洗化率：98.9%)  平成 23 年度に実施した未水洗実態調査に基づき、水洗化率を算出した。  【目標達成率：99.0%】
		(2) 下水道使 用料金適正化 の検証	目標 経費回収率 (汚水処理 費回収率)の 改善	経費回収率 (汚水処理 費回収率)  <b>98.6%*</b>	経費回収率（汚水処理費回収率）（%）＝下水道使用料収入／汚水処理費×100 (平成 23 年度末 経費回収率（汚水処理費回収率）：95.4%)  経費回収率（汚水処理費回収率）とは、汚水処理に要した費用に対する下水道使用料の割合を表しており、下水道事業の経営状況を表す数値として用いられる。
			目標数値等 経費回収率 (汚水処理 費回収率) ：100%		

地方公営企業会計

独立した企業として経営を成り立たせていく会計制度。これにより財政の適正化、使用料金の最適化等へ結びつき下水道基盤強化に直接繋がる効果が期待される。

下水道使用料

下水道の維持管理費等の経費に充てるため、下水道管理者が条例に基づき使用者から徴収する使用料金のこと。



小平市下水道プラン進捗状況  
《平成 24 年度実績》

平成 25 年 10 月発行

編集・発行 小平市環境部下水道課

〒187-8701

小平市小川町二丁目 1333 番地

電話番号 (042)346-9560 (直通)

ファックス (042)341-9520

電子メール gesuido@city.kodaira.lg.jp

¥50